

六つの風呂で五つの源泉を堪能

和歌山県・那智勝浦温泉 ホテル浦島



波音を聞きつつ温泉が楽しめる「忘帰洞」

三方を海に囲まれた半島に、四つの源泉を持つホテル浦島(松下哲也社長)。「帰るのを忘れさせるほどの地味に」と評したことから命名した。外に広く知られる存在だ。海に面した天然の洞窟内に温泉が湧出したも

同館は所有する日本の源泉のうち5本を使用。4館(六つ)の異なる風呂が楽しめる。眺望しつと源泉かけ流しなど個性あふれる風呂の数々は、1泊ではとても回りきれない。今年創業70年を迎えた同館では、8月1日に目黒船ながりニューアルオープンした。一番の目玉は、海を望むライブキッチン。南紀勝浦の名物である生アゴの解体を目の前で見られるほか、出来たてのステーキやパスタを思い思いに堪能できる。

▽和歌山県東牟婁郡那智勝浦町勝浦1-65の2。☎0735(52)1011。

趣き異なる大浴場で湯めぐりを

日本三名泉の一つ、下呂温泉の水明館(龍康洋社長)は、日本文化を大切に、心を尽くした料理やもてなしで知られる人気の旅館だ。旅人の心をとらえて離さないのが、同館の風呂。なめらかな湯触りで、湯上がりにほっとする。美入の湯」として名高い下呂の湯を多様な浴場で堪能できる。

同館は山水閣、飛泉閣、臨川閣の3館それぞれに大浴場があり、宿泊客はいつでも自由に利用できる。臨川閣3階「下留(しもとめ)の湯」は、天井、壁、柱にまで檜を使っただけの大浴場。湯に浸かると上れば、大旅館の建物内であることを忘れさせるような、木組みの高い天井が目に入る。外には日本庭園が広がりくつろげる空間。たっぷりの湯が満たされた高温、低温の石造りの浴槽のほか、檜風呂、サウナと、充実の設備もついている。

山水閣1階には巨石に囲まれた野趣あふれる野天風呂がある。男性用の「龍神の湯」、女性用の「観音の湯」ともに、内湯と野天風呂を備える。星空を愛で、下呂の山間を吹きわたる風を感じながら楽しむお湯は、いつまでも入ってたいくなる心地良さを。飛泉閣9階に位置する展望大浴場は、一面ガラス張りの開放感あふれる。眼下に流れる飛騨川の流れや飛騨の山々、温泉街の景色を一望できるのが特長だ。清掃時間以外は24時間いつでも入浴できるところから、温泉に入りながら刻々と変わる下呂の風景を楽しめる。

このほか臨川閣4階には、純和風の檜の浴槽を据えた「七里の湯」、レトロ調で陶器の風呂がある「織部の湯」の二つの貸し切り風呂がある。いずれも源泉100%のうちの七里の湯は、脱衣スペースが広いだけでなく、入浴しやすいよう段差が少ない設計。臨川閣などの一部の客室では、温泉を源泉のまま客室風呂に引き込んでおり、自分の好きなタイミングで温泉を独り占めすることも可能だ。

▽岐阜県下呂市幸田1-2000。☎0576(25)2800。

岐阜県・下呂温泉 水明館

岐阜県・下呂温泉



檜をぜいたくに使った下留の湯



巨石に囲まれた野趣あふれる「龍神の湯」

客室でサウナを楽しむ

香川県・こんぴら温泉郷 琴平グランドホテル桜の抄



初音スタンダード サウナ&スパルーム

金刀比羅宮の参道沿いに建つ琴平グランドホテル桜の抄(近藤弘幸社長)は、プライベートサウナを備えた客室が人気。周囲を気にせず、自分のペースでサウナと温泉を楽しむ。2024年3月にオープンした和モダン調の和洋室「初音スタンダード サウナ&スパルーム」(4室)は、「初音スタンダード サウナ&スパルーム」の客室に「コネクトルーム」を追加した「初音スタンダード サウナ&スパルーム」(1室)がある。このほか、ロウリュサウナ、水風呂、温泉風呂が付いた客室「ゆすらんサウナ・スパ・ルーム」(1室)もある。大浴場にもサウナを完備。殿方露天風呂からは金刀比羅宮の大門を望み、婦人露天風呂ではバスタブを浮かべた「華風呂」を楽しむ。

▽香川県仲多度郡琴平町977-1。☎0877(75)3218。

文化財の宿 湯と建築美に浸る

静岡県の修善寺温泉、桂川の清流沿いに建つ新井旅館(相原昌一郎社長)は、明治5年創業。芥川龍之介や横山小波をはじめ多くの文人墨客が滞在した名宿で、浴場を含む15棟が国の登録有形文化財になっている。文化財の一つ「天平大浴堂」は、奈良時代の天平建築を模し、3年の歳月をかけて昭和9年に完成した総ひのき造りの大浴場。日本画・安田靉彦氏が設計を手掛け、台湾産ひのきの芯を材や伊豆石、巨大な柱石を用いた重厚な造りになっている。お湯を思わせる高い天井と精緻な木彫り、昭和初期を代表する名建築といえるだろう。浴場は池に面して、泳ぐのを眺める仕掛けも新井旅館ならでは。

このほか、アヤメの花をかたどった「あやめ風呂」や天平大浴堂と同じひのき材を用いた八角形の貸し切りの風呂「睡蓮」や、芥川龍之介が入浴した切りの風呂「翡翠」でも、コイを眺めながらの湯あきが楽しめる。野天風呂「木漏れ日の湯」と平瀬天風呂「折節の湯」も備え、すべて源泉掛け流し。泉質は無色透明のアルカリ性単純温泉で、肌当たりの良さが、桂川沿いに位置する数寄屋風の客室。夜にはライトアップされた竹の小径を客室から望むことが可能だ。

▽静岡県伊豆市修善寺970。☎0558(72)2007。

静岡県・修善寺温泉 新井旅館

静岡県・修善寺温泉

総ひのき造りの大浴場「天平大浴堂」



二階層にまたがる湯処 自慢

愛媛県・道後温泉 道後プリンスホテル



庭園露天風呂

道後プリンスホテル(佐藤拓也社長)は、大浴場・庭園露天風呂が二階層にまたがる湯処が自慢。大浴場にはメイン浴槽のほか、バイラバ、スリルバス、ロウリュサウナ、スチームサウナなどを備え、庭園露天風呂には、温泉宿・ホテル総選挙で四国エリア一位を獲得。みかん、ポールの湯、まんがの湯、さまざまな館内イベント、レトロなコネクトパスの送迎など、おさまにも人気の演出も多彩で、まるでテーマパーク気分。道後の滞在を楽しめる。同ホテルは8月に露天風呂付き客室を6室増やすなど、高付加価値化の推進や若手社員による接客にも定評がある。また、生産者や地域を巻き込んだ様々な観光地形成への斬新な取り組みにも注目が集まる。

▽愛媛県松山市道後姫塚100。☎089(94)5111。

展望抜群の露天風呂とサウナ



「湖畔混浴 空(そら)」

白樺リゾート池の平ホテル(矢島義廣社長、2415室)の温泉とサウナは、白樺湖や車山の四季折々の絶景を満喫できる。池の平ホテルでは、1955年の創業時から営業してきた本館を解体、「THE LAKE RESORT」という新コンセプトのもと、10階建ての新本館を全面改築、2023年春にグランドオープンした。メインエリアの露天風呂「湖畔混浴 空(そら)」はインフィニティ設計を採用しており、全身が湖に溶け込むような開放感がある。露天風呂には外気浴用の特別スペースが設置され、湖からそよ風が心地よい。「展望サウナクル」の室内は、山並みをイメージした曲線デザインされ、大きな窓から見る景色はまるで絵画のよう。セルフロウリユも楽しめる。日替わりのアロマ水の香りにも癒やされる。

「湖畔混浴 空」と「展望サウナクル」は、いずれも持参の水着、水風呂は、夢科山の伏流水を掛け流しに、頭上から降り注ぐようになっている。

他にも男女入れ替え制の大浴場として、木質ひのきをあしらった木の湯、天然石を基調とした石の湯がある。いずれの大浴場も、露天風呂・オートロウリュサウナを備えている。

「湯上がりラウンジ」では、夢科山の伏流水や炭酸水を飲み放題で提供している。リラクゼーションなど、湯上がりグッズも充実しており、ソファや畳で寛げる。

▽長野県茅野市白樺湖。☎0266(68)2100。

長野県・白樺温泉 白樺リゾート池の平ホテル

長野県・白樺温泉



「展望サウナクル」

露天やサウナから響溪谷を望む

大分県・奥日田温泉 奥日田温泉うめびき



露天風呂からの眺望(左)とサウナラウンジ

景勝地 響溪谷を望む奥日田温泉にサウナを楽しむ。プライベート空間のため、家族連れや宿泊客から大変好評だ。4年7月、プライベートサウナラウンジ「紅鶴」をオープン。飲料やアイス、軽食はフリーで、動画配信サービス付きのテレビも完備。絶景とお気に入りの映画を観ながら、思う存分「緑玉」には、チェア型の岩盤浴を設置したほか、露天風呂の湯場からは、季節や時間帯で夕景や満月の星明りや、山によって表情を変える響溪谷の絶景が楽しめる。青軸の活断層は、室温が42度と低く、長くリラックスして過ごせる。室内に敷き詰められた、ミネラル豊富な土の玉セラミックボールが温められ、マイナスイオンが発生することで、全身から老廃物の排出を促すのだという。

▽大分県日田市大山町西大山4-2000。☎0973(52)3700。

9月14日号では「料理編」を紹介します。